

授業科目名：経済学 A		
英 文 名：Economics A		
担当教員名：堀井 亮		所属部局等：経済学部
セメスター：I・III	曜日・時限： 月・3	単位数： 2
対象学部・学科：経済学部		
<p>授業の目的，ねらい：</p> <p>経済学部に入學した皆さんであれば、経済成長率・失業率・インフレーション・為替レートなどの言葉は新聞やニュースで聞いたことがあると思います。これら経済全体を捉える様々な変数がどのように決定されるのかを分析するのがマクロ経済学という経済学の一大分野です。この授業では全くの初学者を対象にマクロ経済学の基礎を講義します。</p> <p>授業の計画，内容と目標：</p> <p>マクロ経済学的な考え方を身につけること目指します。講義の内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済学者らしく考える</li> <li>2. 国民所得</li> <li>3. 生計費を計る</li> <li>4. 生産と成長</li> <li>5. 貯蓄・投資と金融システム</li> <li>6. 失業</li> <li>7. 貨幣システム</li> <li>8. インフレーション</li> <li>9. 開放マクロ経済学(1)</li> <li>10. 開放マクロ経済学(2)</li> </ol> <p>成績評価の方法：</p> <p>期末試験・小テスト等により総合的に判断します</p> <p>教科書：</p> <p>二神孝一 著 「マクロ経済学入門」日本評論社 (2006年3月出版予定。出版が授業開始に間に合わない場合は、必要な個所のコピーを配布します)</p> <p>参考図書：</p> <p>N・グレゴリー・マンキュー 著 「マンキュー経済学 II マクロ編 (第2版)」 東洋経済新報社</p>		
e-mail：horii@econ.osaka-u.ac.jp		公開の可否
		可

【記入上の注意】

1. 昨年度より引き続いて担当される科目については、添付の原稿に朱書き訂正されても結構です。
2. 全体で 600 字程度 (40 文字×15 行=600 字) を目安に収めて下さい。  
また、スキャナーでの読み取りを行ないたいと考えていますので、出来ればワープロ等 (罫線抜き) で作成頂き、本用紙に貼付して下さい。
3. 「授業の目的・ねらい」については、関連する他の授業科目がある場合には本授業の位置づけをお書き下さい。
4. 「授業の計画，内容と目標」については、目標は成績評価に関連させて具体的にお書き下さい。
5. 「成績評価の方法」については、試験，5 回に 1 回の 1000～1500 字の小論文又はレポート，毎回の小テスト，複数のクラスに同一科目が開講される場合には共通試験又は個別試験等と出来るだけ具体的に記載して下さい。
6. 「e-mail」欄は実践センターから先生方への連絡に使用するもので原則として非公開ですので、メールアドレスをお持ちの方は必ず記入して下さい。  
なお、学生に公開してもよい場合は、「公開の可否」欄の「可」を で囲んでください。